

日本PFI協会
PPP協

仙台空港等運営権研究会

LCCの動向解説

日本PFI・PPP協会(植田和男理事長)が設置した「仙台空港等と公共施設等運営権研究会」(会長・山内弘隆一橋大学院教授)は15日、第2回

会合を仙台市青葉区のTKPカンファレンスセンターで開いた。写真。



今回は山内会長が「航空産業のトレンドと空港改革」をテーマに講演し、アジアで存在感を増す低費用航空会社(LCC)の事業展開や空港運営のすう勢を紹介。中国系のLCCと仙台空港が連携

すること、東北地方に多くの観光客を呼び込むことができるとの見方も示した。

山内会長は、仙台空港での活用を想定するコンセッション方式(所有権を民間に移転しないで、

事業運営・開発に関する権利を長期間付与)にも言及。改正PFI方式によるコンセッションの課題として、▽契約の不完備性▽リスクの問題▽事業上の自由度の問題―の3点を挙げた。